

## 令和3年第1回境港警察署協議会開催状況

開催日時	令和3年3月9日(火)午後1時30分から午後3時まで	
開催場所	境港警察署 3階大会議室	
出席者	委員 (定数6人)	野村会長、角副会長、松本委員、角委員、山岡委員、山口委員  以上6人
	警察	岡山署長、竹内管理官、隅生活安全刑事課長、津田交通課長、 牛尾地域課長、西澤警備課長、警務課員  以上7人
<b>議 事 概 要</b>		
<p><b>1 挨拶</b></p> <p><b>(1) 会長挨拶</b></p> <p>この度、署員の人事異動が内示されたとのことだが、これまで境港市の安全安心に尽力いただき感謝する。また、角副会長、松本委員は、本年で3期6年の任期を満了されるが、これまでいろいろ支えていただき感謝申し上げます。</p> <p>本日は、存分に意見を出していただき、実のある協議会になるようお願いする。</p> <p><b>(2) 署長挨拶</b></p> <p>角副会長、松本委員には長きにわたり、地域住民が安全安心に生活できるよう地域の安全に関する問題等について、積極的かつ効果的な御意見をいただき、感謝申し上げます。今後とも警察行政各般にわたり御理解と御協力を賜りたく、お願い申し上げます。</p> <p>先日、内報があり、私、管理官、生活安全刑事課長、交通課長、警備課長が警察本部に異動することとなり、現体制での協議会も最後となった。</p> <p>境港市は、水木しげるロードや、新たな物流・交流拠点としての「境夢みなとターミナル」の供用、境港市民交流センターの整備など、まさに発展中の街である。地域の発展には安全安心の確保が必要不可欠であり、当署に対する期待の高まりとともに、当署の果たす役割もますます重要になっている。委員の皆様には、今後とも当署の運営に関して、御意見などをお願いしたい。</p> <p>本日は、高齢者の交通事故防止について、県立境港総合技術高等学校の生徒さんと協働した取組の協議を予定しているので、忌憚のない御意見をお願いする。</p> <p><b>2 協議事項</b></p> <p><b>(1) 鳥取県警察運営指針、重点目標の説明</b></p> <p>管理官が、令和3年の鳥取県警察運営指針、重点目標及び推進項目の策定について説明を行ったが、委員からの質問はなかった。</p> <p><b>(2) 治安概況等説明</b></p> <p>担当課長が、令和2年度第3四半期における管内の治安概況について説明を行った。</p> <p>委員：2月5日、2月28日と立て続けに交通死亡事故が発生したが、概要を教えてください。</p> <p>警察：2月5日の事故は、国道431号で、転回中の車に境港市方向から米子市方向に進</p>		

行する車が衝突した事故で、転回中の車両の運転手が亡くなりました。2月28日の事故は、外江町地内で道路を横断中の高齢女性に飲酒運転の車が衝突した事故で、高齢女性が亡くなりました。

委員：以前は、市道外浜道路での事故が多く、道路の標示の働き掛け等をしてもらったが、効果はどうか。

警察：境港市において、余子小学校近くの道路をカラー舗装や破線を引くなどの対策をされている。また、中浜公民館周辺についても働き掛けをしていく。効果は今後でるものと考えている。

委員：境港市で、あおり運転はあるのか。

警察：あおり運転とまではならなくても、車間距離が近い、頻繁な車線変更をするなどのマナーの悪い運転の通報はある。交通死亡事故抑止対策も兼ねて、赤色灯を点灯させたパトカーによるレッド走行や速度抑止のための交通指導取締りなどの対策を行っている。

委員：市内を走行中、110番通報するまでもなかったが、怖いと感じることがあった。

委員：以前、高齢者の運転する車両に対して幅寄せをしたり、相手の車を停車させ、怒鳴るのを見て、警察に通報したことがあった。

委員：運送業者は、プロドライバーとして一般の人より運転について厳しく見られている。そのような中で、わざとあおられるような運転をして、業者に対し、謝罪だけではなく、暗に最終的に金銭的な要求をしてくる者がいると聞く。

警察：今後の参考にさせていただく。

### (3) 高校生と協働による高齢者対策(交通事故防止)について

会長が、来年度の取組について委員に意見を求めた。

委員：チラシに市内の路線図を描き、危険箇所を示すと分かりやすいと思うが、それだけでは見てもらえないのではと思う。

委員：既に、老人会や敬老会の会合において啓発活動をされているが、そこでチラシを配るだけでは効果が少ないのではないかと。なかなか即効性のあるものが思いつかないが、実際に交通事故の発生場所に看板を立てるのはどうか。

警察：現状では、交通事故発生場所に看板を立てることはしていない。

委員：反射材の配布など、いろいろな対策を警察もしているもので、それ以外のことを考えないといけない。

委員：年代を広げ、小学生から高齢者まで幅広く意見を求めてはどうか。

委員：高齢者の交通事故は、生活道路が多いのか。

警察：自宅近所の生活道路での事故が多い印象がある。

委員：新型コロナウイルス感染症のため、独居高齢者が自宅に閉じこもる現象がある。小学生に独居高齢者宛てに手紙を出してもらったところ、大変好評であった。高齢者は、個人宛の手紙はしっかり読むので、小学生に交通事故防止につながる手紙を書いてもらうのはどうか。チラシやポスターと違い、効果があるのではないかと。

委員：高校生と協働であれば、交通事故の現状を説明した上で対策と一緒に協議し、何か作り上げてはどうか。その方が、高校生にもより達成感を感じてもらえると思う。

委員：前回、境港総合技術高等学校と協働で行った際に、立ち上げ段階から生徒に関わってもらえれば、福祉科だけではなく他科も関わると感じた。活動状況を最初から最後まで撮影し、物語形式に編集して動画サイトで公開するのも一つの活動になるのではないかと。

警察：県警察のホームページでは、振り込め詐欺被害防止の寸劇、音楽隊の演奏状況等

の動画をリンクしている。先般、境港総合技術高等学校の方と話した際、同校から、「昨年より深く関わりたい」との意見があった。

警察：一つの成果を出す過程を記録し、その記録も広報資料として活用するのであれば、機材が県警察にあるので活用する。

委員：公民館では、地区の児童に公民館に来てもらい、小学生目線で何が必要か、掲示物をどう掲示したら良いかなどチェックしてもらい、学校で対処方策を考え、提言してもらっている。交通事故抑止対策を高校生に検討してもらってはどうか。

委員：今回は、高齢者に特化した交通事故防止対策、広報の方法などを高校生と一緒に考え、作成過程を撮影編集して、警察のホームページなどに掲載する方法での広報活動を提言する。

#### (4) 委員挨拶

本年度で任期満了となる委員2人から挨拶が行われた。

委員：6年間、いろいろな経験させてもらい感謝している。今後も地域の安全安心のための活動をお願いする。

委員：女性警察本部長がされた女性参画、働き方改革等の話は感動した。それが現在も引き継がれ、女性が躍進していることを嬉しく思う。今後もその考え方を継続してほしい。今後も、警察と地域の架け橋として活動したいと思う。

### 3 その他

次回協議会は、令和3年6月頃に開催する予定である。